

(3) 2009年(平成21年)2月18日(水曜日)



渋谷 耕一社長

## 喫緊の「金融危機から会社を守る」

食品産業文化振興会<sup>セミナー</sup>

食品産業文化振興会(事務局)日本食糧新聞社事業本部内)はこのほど、リックキービジネスソリューションの渋谷耕一社長と小原光男常務を講師に迎え、「金融危機から会社を守る」のテーマで2月定例セミナーを開催した。渋谷氏はリックキービジネス社の業務説明、現在の金融状況、経営者と銀行の両視点を合わせ持つ複眼視点の重要性などを解説し、小原氏は銀行から有利な融資を引き出す経

営計画書の具体的な作成方法について語った。リックキービジネス社は、中堅・小規模企業に対して金融顧問、金融コンサルティング業務を行っている。

銀行との融資交渉に当たり、有利な条件で融資を受けられる方法などの相談に応じている。同時に各銀行融資担当者に対して、優良融資を実施していく方法

の相談にに応じている。重要なポイントは、経営者は新製品、営業戦略など未来視点で経営を説明する傾向がある。銀行側は設立時期、工場の建設時期、不

を、他方、銀行に対しては未来を語る経営者視点も合わせて事業を判断することをお勧めしている。経営者も銀行も、この複眼視点を持つことを勧めている。

最後に小原氏は、融資申し込みのために銀行に提出する経営計画書の作成の具体的要領について、次の通り解説した。自社の強みと弱み、市場の機会と脅威を把握して目指す方向を決めること。年次比較や業異他社比較を行い、自社の動向を客観的にみる財務分析。今後の経営目標を数値に落とし込んだ中期経営目標の設定。目標を具体的なプランにまで落とし込んだ具体方策など。(大川公雄)

## 企業・銀行とも複眼視点必要

渋谷・小原 2氏講演

現在の金融状況は、銀行には預金が多く、貸し出しが強化されてきている。先が少ない状況にある。これらの景気回復、金融緩和措置を、各経営者は有利に活用することを勧めている。